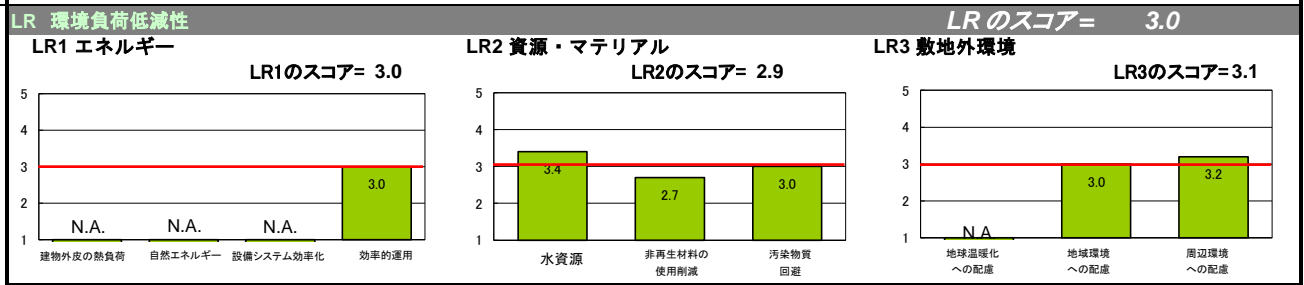
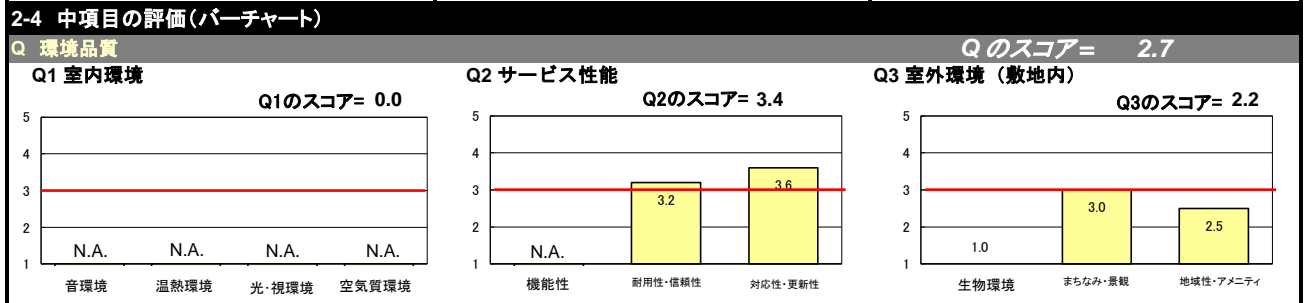
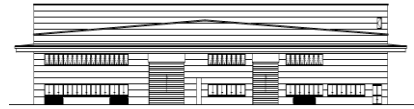


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)トヨタサービスセンター神奈川新築工事(工場1)	階数	地上1F
建設地	神奈川県愛甲郡愛川町角田字小沢下原507番1	構造	S造
用途地域	工業地域 防火地域指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年5月 予定	評価の実施日	2016年1月29日
敷地面積	11,201 m ²	作成者	佑企画設計株式会社
建築面積	4,886 m ²	確認日	2016年2月1日
延床面積	4,079 m ²	確認者	ケイ・ティ・ストアマネジメント株式会社



3 設計上の配慮事項

総合	その他
省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	0
<p>Q1 室内環境</p>	<p>Q2 サービス性能 階高にゆとりのある建物となっている。</p>
<p>LR1 エネルギー LED照明器具、ヒートポンプエアコンを採用。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 建物高さ、外装、屋根等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランス良く調和させている。</p>
<p>LR2 資源・マテリアル 節水コマ付水栓、節水型器具を採用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 光害対策に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される